

# 現代の国語

京都長尾谷高等学校

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験
必履修	2	6	2	筆記試験
<b>教科書</b>		<b>学習書・副教材等</b>		
大修館書店 707「新編 現代の国語」		大修館書店「新編 現代の国語 学習ノート」		
<b>学習目標</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。</li> <li>・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。</li> <li>・自分の思いや考えを広げたり深めたりする力を身につける。</li> <li>・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</li> </ul>				
<b>学習内容</b>				
<p>随想や評論文を読み、筆者の伝えたい思いをつかみ、想像力や思考力を養う。文章を書くための言葉や敬語、表現技法を知り、説明文や意見文、依頼状を書く。様々な情報媒体の存在やグラフの特徴を知る。また、グラフから情報を正しく読み取り、自分の意見を考える。</p>				
<b>授業の進め方、課題・提出物など</b>				
<p>中学校の内容を復習しつつ、基礎的な文章表現を学びます。知識としての表現技法を学びながら、実際の文章の読み、少しずつ実践的な表現方法や表現力を身につけられるよう授業を進めていきます。</p>				
<b>評価基準と評価方法</b>				
<p>【単位認定の条件】次の①～③をすべて満たすことを単位認定の条件とする。</p> <p>①必要出席時数以上スクーリングに出席すること。</p> <p>②すべてのレポートを提出し、すべて60点以上の評価を受けること。</p> <p>③平常点及び単位認定試験の結果を総合的に評価し、評点が35点以上であること。</p> <p>※①及び②のみ満たした場合は履修のみ認定する。</p> <p>【平常点について】</p> <p>以下の項目の合計点を平常点とする(上限30点)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクーリングへの出席1回につき1点。</li> <li>・レポート6回分の平均点×0,3点。</li> <li>・レポート内の平常点課題による加点(上限2点)。</li> </ul>				
<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>		<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	
言葉の特徴やきまり、漢字などついて理解し、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚もち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	
<b>担当者より</b>				
<p>様々な種類の文章を読み、幅広い表現技法を知りましょう。また、自分の考えや意見を相手に伝わるように作成してみましょう。レポートは教科書をしっかりと読み、学習ノートを参考にして取り組んでください。</p>				

# 言語文化

京都長尾谷高等学校

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験
必履修	2	6	2	筆記試験
<b>教科書</b>		<b>学習書・副教材等</b>		
東京書籍 701「新編 言語文化」		東京書籍「新編 言語文化 学習課題ノート」		
<b>学習目標</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。</li> <li>・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ深める。</li> <li>・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</li> </ul>				
<b>学習内容</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・随筆や小説、物語など、場面の様子や人物の心情を想像しながら読む想像力を養う。また、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える力を養う。</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解し、現代文・古文・漢文をバランスよく学習する。</li> </ul>				
<b>授業の進め方、課題・提出物など</b>				
<p>中学校の内容の復習からはじめ、我が国の伝統や文化について書かれた随筆や評論などを学びます。また、古典を読むための基礎的知識を学び、特徴的な表現の技法とその効果について理解できるよう、授業を進めていきます。</p>				
<b>評価基準と評価方法</b>				
<p><b>【単位認定の条件】</b>次の①～③をすべて満たすことを単位認定の条件とする。</p> <p>①必要出席時数以上スクーリングに出席すること。</p> <p>②すべてのレポートを提出し、すべて60点以上の評価を受けること。</p> <p>③平常点及び単位認定試験の結果を総合的に評価し、評点が35点以上であること。</p> <p>※①及び②のみ満たした場合は履修のみ認定する。</p> <p><b>【平常点について】</b></p> <p>以下の項目の合計点を平常点とする(上限30点)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクーリングへの出席1回につき1点。</li> <li>・レポート6回分の平均点×0.3点。</li> <li>・レポート内の平常点課題による加点(上限2点)。</li> </ul>				
<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>		<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	
<p>古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解している。また、我が国の言語文化の特徴的な語句の量を増やし、語感を磨き語彙力を身につけている。</p>	<p>論理的に考えることや深く共感したり豊かに想像したりすることができ、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。</p>		<p>自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考え方をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。</p>	
<b>担当者より</b>				
<p>教科書をしっかりと読み副教材を参考にしてレポートに取り組んでください。必要出席時数は多くないため、出席してもわからない問題がある場合は積極的に先生に質問しましょう。古典を学ぶということは古人のものの見方や感じ方を知り、日本人の価値観の土台を学ぶということです。受け継がれてきた作品の素晴らしさを感じてください。</p>				

# 論理国語

京都長尾谷高等学校

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験
選択科目	4	前期 6 後期 6	前期 2 後期 2	筆記試験
<b>教科書</b>		<b>学習書・副教材等</b>		
大修館書店 706「新編 論理国語」		大修館書店「新編 論理国語 学習ノート」		
<b>学習目標</b>				
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ深める。</p>				
<b>学習内容</b>				
<p>全体の授業展開として、漢字の読み、書き取り、語句の意味確認を行いながら、本文の内容をまとめ、話の流れを理解する。文章の構成や展開から筆者の主張を読み取る。「人工の自然—科学技術時代の今を生きるために」では、「人工」と「自然」という本来は対照的な概念が、実際には互いに関係しあったものであることを理解し、科学テクノロジーに囲まれた生活を問い直していきたい。「和の思想、間の文化」では、実社会に必要な国語の知識や技能、日本の伝統的な年間行事について学習し、正しい知識を身につける。また、和の力、間の働きから伝えあう力、生きる力の育成に繋げる。</p>				
<b>授業の進め方、課題・提出物など</b>				
<p>近代以降の様々な作品に触れ、実社会に必要な国語の知識や技能を学びます。論理的に考える力、他者に共感する力や想像する力、言葉で伝え合う力を養い、その上で、感性を育み、豊かな社会への認識する態度を身につけられるよう、授業を進めていきます。</p>				
<b>評価基準と評価方法</b>				
<p>【単位認定の条件】次の①～③をすべて満たすことを単位認定の条件とする。</p> <p>① 必要出席時数以上スクーリングに出席すること。</p> <p>② すべてのレポートを提出し、すべて60点以上の評価を受けること。</p> <p>③ 平常点及び単位認定試験の結果を総合的に評価し、評点が35点以上であること。</p> <p>※①及び②のみ満たした場合は履修のみ認定する。</p>				
<p>【平常点について】</p> <p>以下の項目の合計点を平常点とする(上限30点)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクーリングへの出席1回につき1点。</li> <li>・レポート6回分の平均点×0,3点。</li> <li>・レポート内の平常点課題による加点(上限2点)。</li> </ul>				
<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>		<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	
語句の意味や表現方法を理解し、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。	論理的、批判的に考えることや創造的に考えることができ、他者との関わりの中で自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	
<b>担当者より</b>				
<p>様々な作品に触れ、これから必要な国語の知識や技能を学び、言葉で伝え合うことを目標にしてみましよう。レポートは教科書、学習ノートを参考に取り組んでください。</p>				

# 文学国語

京都長尾谷高等学校

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験
選択科目	4	前期 6 後期 6	前期 2 後期 2	筆記試験
<b>教科書</b>		<b>学習書・副教材等</b>		
大修館書店 705「新編 文学国語」		大修館書店「新編 文学国語 学習ノート」		
<b>学習目標</b>				
<p>・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。</p> <p>・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ深める。</p> <p>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>				
<b>学習内容</b>				
<p>上代から現代にいたる文学的な文章を読み、創作的に考える力を養うと同時に、言葉への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わる力を身に付ける。また、主要な古典作品に触れ、伝統的な言語文化に対する理解も深める。</p>				
<b>授業の進め方、課題・提出物など</b>				
<p>文学的な文章について、文章の種類や特徴について基礎的知識を身につけます。代表的な作品から古典作品を読み進めるなかで、表現の技法や筆者の考えを体系的に理解し、想像力を鍛えられるよう授業を進めていきます。</p>				
<b>評価基準と評価方法</b>				
<p><b>【単位認定の条件】</b>次の①～③をすべて満たすことを単位認定の条件とする。</p> <p>①必要出席時数以上スクーリングに出席すること。</p> <p>②すべてのレポートを提出し、すべて60点以上の評価を受けること。</p> <p>③平常点及び単位認定試験の結果を総合的に評価し、評点が35点以上であること。</p> <p>※①及び②のみ満たした場合は履修のみ認定する。</p> <p><b>【平常点について】</b></p> <p>以下の項目の合計点を平常点とする。(上限30点)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクーリングへの出席1回につき1点。</li> <li>・レポート6回分の平均点×0.3点。</li> <li>・レポート内の平常点課題による加点(上限2点)。</li> </ul>				
<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>		
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	深く共感したり豊かに想像したりすることや創造的に考えることができ、他者との関わり合いの中で自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。		
<b>担当者より</b>				
<p>文学的な文章を読み、言語に触れる機会を増やしましょう。また、文章を読む上で必要となる表現技法を知り、想像力を鍛えましょう。レポートについては、教科書、副読本をしっかりと読み、参考にしましょう。</p>				

# 古典探究

京都長尾谷高等学校

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験
選択科目	4	前期 6 後期 6	前期 2 後期 2	筆記試験
<b>教科書</b>		<b>学習書・副教材等</b>		
大修館書店 708「精選 古典探究」		大修館書店「精選 古典探究 学習ノート」		
<b>学習目標</b>				
<p>・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。</p> <p>・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ深める。</p> <p>・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>				
<b>学習内容</b>				
<p>上代から現代にいたる様々な作品を読み、当時の文化を知るのと同時に、言葉への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わる力を身に付ける。また、主要な古典作品に触れ、伝統的な言語文化に対する理解も深める。</p>				
<b>授業の進め方、課題・提出物など</b>				
<p>古典作品について、当時生活や考え方、特徴について基礎的知識を身につけます。文法を確認しながら代表的な作品を読み進め表現の技法や筆者の考えを体系的に理解し、想像力を鍛えられるよう授業を進めていきます。</p>				
<b>評価基準と評価方法</b>				
<p>【単位認定の条件】次の①～③をすべて満たすことを単位認定の条件とする。</p> <p>①必要出席時数以上スクーリングに出席すること。</p> <p>②すべてのレポートを提出し、すべて60点以上の評価を受けること。</p> <p>③平常点及び単位認定試験の結果を総合的に評価し、評点が35点以上であること。</p> <p>※①及び②のみ満たした場合は履修のみ認定する。</p> <p>【平常点について】</p> <p>以下の項目の合計点を平常点とする。(上限30点)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクーリングへの出席1回につき1点。</li> <li>・レポート6回分の平均点×0.3点。</li> <li>・レポート内の平常点課題による加点(上限2点)。</li> </ul>				
<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>		
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	深く共感したり豊かに想像したりすることや創造的に考えることができ、古典を通じた先人との関わり合いの中で自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。		
<b>担当者より</b>				
<p>文法を確認しながら古典作品を読み、言語に触れる機会を増やしましょう。また、古典を読む上で必要となる文法や語句を学び、作品を読む力を鍛えましょう。レポートについては、教科書、副読本をしっかりと読み、参考にしましょう。</p>				

# 漢字能力演習

京都長尾谷高等学校

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験
選択科目	2	4	8	なし
<b>教科書</b>		<b>学習書・副教材等</b>		
なし		日本漢字能力検定協会「漢検 3級 分野別問題集」		
<b>学習目標</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。</li> <li>・我が国の言語文化に対する理解を深め、具体的には漢検3級の合格をめざす。</li> <li>・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</li> </ul>				
<b>学習内容</b>				
「日本漢字能力検定」の3級の合格をめざし、読み・書きや熟語の構成等の各分野を総合的に学ぶ。また、文章の中で適切に漢字を使う力を養う。				
<b>授業の進め方、課題・提出物など</b>				
中学校までで学習する漢字を復習し、具体的な使い方を学んでいきます。漢字の成り立ちを知り、それらがどのような意味を持ち、現代使用されているかを知り、実際に使いこなせるよう、授業を進めていきます。				
<b>評価基準と評価方法</b>				
<p>【単位認定の条件】次の①～③をすべて満たすことを単位認定の条件とする。</p> <p>①必要出席時数以上スクーリングに出席すること。</p> <p>②すべてのレポートを提出し、すべて60点以上の評価を受けること。</p> <p>③平常点及び単位認定試験の結果を総合的に評価し、評点が35点以上であること。</p> <p>④日本漢字能力検定を受検していること。</p> <p>※①及び②のみ満たした場合は履修のみ認定する。</p> <p>【平常点について】</p> <p>以下の項目の合計点を平常点とする(上限30点)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクーリングへの出席1回につき1,5点。</li> <li>・レポート4回分の平均点×0,2点。</li> <li>・レポート内の平常点課題による加点(上限2点)。</li> </ul>				
<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>		<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	
言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。	論理的に考えることや深く共感したり豊かに想像したりすることができ、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。		漢字の成り立ちなどについて積極的に学び、我が国の言語文化の担い手としての自覚もち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	
<b>担当者より</b>				
基本的な漢字やそれらの成り立ちを知りましょう。また、実際の使い方を学び、具体的に使いこなせるようにしましょう。レポートは副教材を参考にして取り組んでください。				

# 現代文特講

京都長尾谷高等学校

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験
選択科目	2	4	8	筆記試験
<b>教科書</b>		<b>学習書・副教材等</b>		
使用しない		指導者作成プリント		
<b>学習目標</b>				
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語での確に開始効果的に表現する資質・能力を身につけることをめざす。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ深める。</p>				
<b>学習内容</b>				
<p>文章表現や、表現技法について学び、言語文化への理解を深める。また、大意をつかみ、筆者の意見を理解する力を養うとともに、作品を通して場面や人物の心情を想像し、読む力や想像力を養う。</p>				
<b>授業の進め方、課題・提出物など</b>				
<p>文章表現の練習問題にたくさん取り組むことで基礎的な文法や表現技法を学びます。知識としての表現技法を学びながら、実際の文章を読み、少しずつ実践的な読解力を身につけられるよう授業を進めていきます。</p>				
<b>評価基準と評価方法</b>				
<p>【単位認定の条件】次の①～③をすべて満たすことを単位認定の条件とする。</p> <p>①必要出席時数以上スクーリングに出席すること。</p> <p>②すべてのレポートを提出し、すべて60点以上の評価を受けること。</p> <p>③平常点及び単位認定試験の結果を総合的に評価し、評点が35点以上であること。</p> <p>※①及び②のみ満たした場合は履修のみ認定する。</p> <p>【平常点について】</p> <p>以下の項目の合計点を平常点とする(上限30点)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクーリングへの出席1回につき1,5点。</li> <li>・レポート4回分の平均点×0,2点。</li> <li>・レポート内の平常点課題による加点(上限2点)。</li> </ul>				
<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>		<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	
<p>言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。</p>	<p>論理的に考えることや深く共感したり豊かに想像したりすることができ、他者との関わりの中で自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。</p>		<p>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚もち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。</p>	
<b>担当者より</b>				
<p>様々な作品に触れ、これから必要な国語の知識や技能を学び、言葉で伝え合うことを目標にしましょう。レポートは本文をしっかりと読み、筆者が伝えたいことを理解することを目標に取り組んでください。</p>				

# 古典特講

京都長尾谷高等学校

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験
選択科目	4	8	16	筆記試験
<b>教科書</b>		<b>学習書・副教材等</b>		
使用しない		指導者作成プリント、尚文出版『～古文単語と一緒に学ぶ～ これからの古典文法』		
<b>学習目標</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活に必要な国語の知識や技能を身につける。</li> <li>・我が国の言語文化に対する理解を深める。</li> <li>・古典を通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高める。</li> <li>・言葉がもつ価値への認識を深め、古典に親しみ自己を向上させる。</li> </ul>				
<b>学習内容</b>				
<p>古典文法を中心に基礎から例文を交えながら学んでいく。古典を読むために必要な語句や訓読のきまり、表現技法について学び、言語文化への理解を深める。また、古典作品を通して場面や人物の心情を想像し、読む力や想像力を養う。</p>				
<b>授業の進め方、課題・提出物など</b>				
<p>中学校の内容を復習しつつ、基礎的な古典文法や表現技法を学びます。知識としての表現技法を学びながら、実際の文章の読み、少しずつ実践的な読解力を身につけられるよう授業を進めていきます。</p>				
<b>評価基準と評価方法</b>				
<p>【単位認定の条件】次の①～③をすべて満たすことを単位認定の条件とする。</p> <p>①必要出席時数以上スクーリングに出席すること。</p> <p>②すべてのレポートを提出し、すべて60点以上の評価を受けること。</p> <p>③平常点及び単位認定試験の結果を総合的に評価し、評点が35点以上であること。</p> <p>※①及び②のみ満たした場合は履修のみ認定する。</p> <p>【平常点について】 以下の項目の合計点を平常点とする(上限30点)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクーリングへの出席1回につき1,5点。</li> <li>・レポート4回分の平均点×0,2点。</li> </ul>				
<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>		
言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。	論理的に考えることや深く共感したり豊かに想像したりすることができ、他者との関わりの中で自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚もち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。		
<b>担当者より</b>				
<p>基本的な古典文法や語句、表現技法を知りましょう。また、古典作品を読み、その情景や登場人物の心情を読み取ってみましょう。レポートは指導者作成テキストをよく読み、参考にして取り組んでください。</p>				